

製品名: BUILD.一貫V; BUILD.一貫IV+

項目1: 出力結果 項目2: 冷間成形角形鋼管

タイトル: STKRとBCRを混用した場合、BCRの部分も柱梁耐力比1.5を満足しなければならないのですか？

Q.

STKRとBCRを混用した場合、BCRの部分も柱梁耐力比1.5を満足しなければならないのですか？

A.

「平成19年6月20日施行 改正建築基準法・建築士法及び関係政省令等の解説」(第2版) P606には以下の記述がありますので、満足する必要があります。

STKR材を用いる場合、1階の柱脚及び最上階の柱頭を除くすべての柱はり接合部において、柱の耐力が梁の耐力の1.5倍以上となる全体崩壊メカニズムとしなければならない。

この件に関しては、(社)日本鉄鋼連盟のボックスコラム委員会にもこの処理で良い旨確認を行っています。